

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本書はレディストワークランプの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。本要領書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお客様の整備書等をご確認の上車両に適した手順で作業を行って下さい。また、本書はなくさないよう大切に保管して下さい。

取付けご担当様へお願い

本書記載の内容・注意事項をよく読み正しくお使い下さい。本書に記載されていない取付け方法は行わないで下さい。また、内容・注意事項をお客様にご確認いただいた上で作業を行うようにして下さい。

お客様へお願い

本書とご購入時の販売証明書(品名や品番が記載されたレシートや領収書)は大切に保管しておいて下さい。販売証明書の提示がない場合は、保証修理・交換ができません。

安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読み下さい。

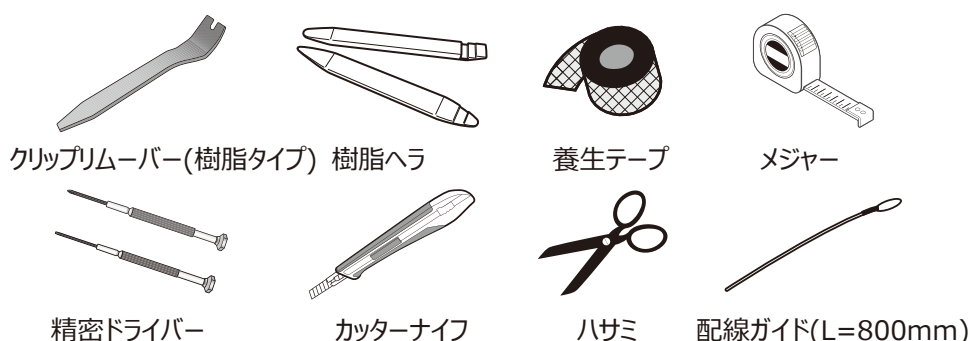
警告	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です	注記	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
注意	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。	アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適合車種および適用年式

ノート 年式 2016 年 11 月～2020 年 11 月 型式 E12 型

※ラゲッジランプ[®]装備車のみ

推奨準備工具



取付準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの(－)側コードを外して下さい。また(－)側コードは(＋)側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付要領書通りになっているか、また製品が正常に機能するかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておくと、後の調整がスムーズに行えます。

取扱い方法

本製品に付いた汚れは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、水拭きにて仕上げて下さい。長時間放置すると、汚れが取れにくくなったり、樹脂部品の劣化の原因になります。本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となります。

注記

- ・ワークランプ取付け位置については、弊社で取付け確認した位置となります。
- ・車両によってキーレスエントリー等のアンサーバック時、ルームランプと同様に点灯しますが異常ではありません。
- ・本製品はLEDのため、消灯時に車両によっては残照機能により、点滅することがありますが異常ではありません。

ワークランプ配策イメージ【リヤ】

構成部品

NO.	部品名称	数量
①	中間ハーネス A(長)	1
②	中間ハーネス B(短)	1
③	電源取り出しハーネス	1
④	Y 字型分岐ハーネス	1
⑤	ワークランプ灯体	2
⑥	LED ルームランプ	1
⑦	クッションテープ	3
⑧	フラットワイヤプロテクタ	1
⑨	面ファスナー	2
⑩	内貼り固定用クリップ	2
⑪	化粧シール	2
⑫	製品保証書・動作説明書	各 1

ワークランプ配策イメージ



- クッションテープ
- フラットワイヤプロテクタ

クリップ取外し位置


目次

1. 準備作業 ①～④	．．．．．	4P
2. 車両部品取り外し ⑤～⑧	．．．．．	6P
3. 車両部品加工 ⑨	．．．．．	8P
4. ハーネス配策 1 ⑩～⑫	．．．．．	9P
5. ランプ組付け ⑬	．．．．．	10P
6. ハーネス配策 2 ⑭～⑮	．．．．．	11P
7. ハーネス処理 ⑯	．．．．．	13P
8. 動作チェック・車両復元 ⑰～⑱	．．．．．	14P

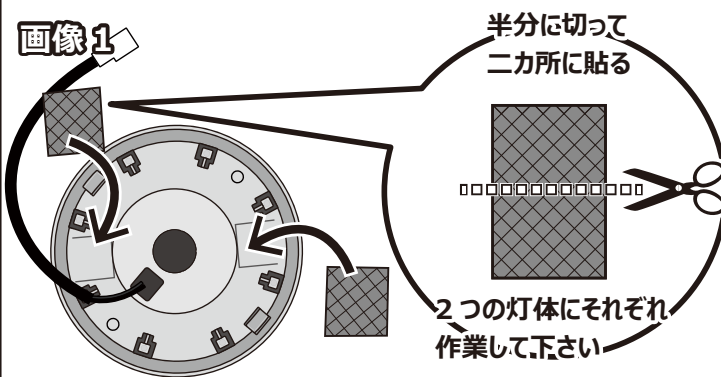
準備作業

①面ファスナーをカットし、灯体本体裏に貼る

画像 1 を参考に、付属の面ファスナーを半分に切り、

灯体本体の裏面にある  の形をした
ケガキ線がある 2 か所に貼付けて下さい。

画像 1



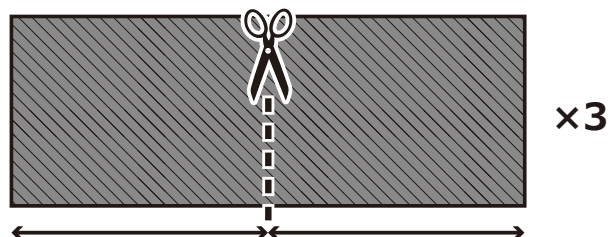
②クッションテープをカットする

画像 2 を参考に、クッションテープ 3 枚を 2 等分して下さい。


クッションテープ 合計 6 枚

画像 2

クッションテープ 2 等分する



③灯体本体のレンズ取外し

灯体本体の裏側、画像 3 の  印部分を、
画像 3-2 のように精密ドライバー等で
押し込むとレンズが外れます。

画像 3



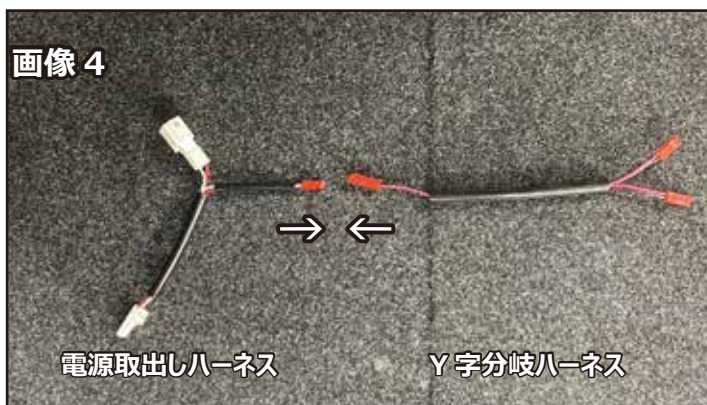
画像 3-2



④電源取出しハーネスとY字分岐ハーネスを接続

画像 4・4-2・4-3 を参考に、電源取出しハーネスと Y 字分岐ハーネスを接続し、接続部分が外れないようにカットしたクッションテープを巻きつけ、しっかり圧着します。

画像 4



画像 4-2



画像 4-3



車両部品取出し

⑤ラゲッジランプユニットを外す

画像 5 のラゲッジランプユニットを
車両整備書に基づいて取外します。

画像 5



画像 5-2



画像 5-3



⑥ウェザーストリップを外す

画像 6 と同等の位置までウェザーストリップを外します。

画像 6



⑦ラゲッジランプユニット側のルームパネルを浮かせる

画像 7・7-2 を参考に、
ラゲッジランプユニット側のルームパネルを、
車両整備書に基づいて
作業スペースを確保できる程度に浮かせます。



⑧ルーフトリムのクリップを外す

本書 2P 配策イメージ図内の、2ヶ所のクリップ取外し位置
にあるクリップを外します。

注 記

取外したクリップは大切に保管して下さい。



車両部品加工

⑨スリット加工

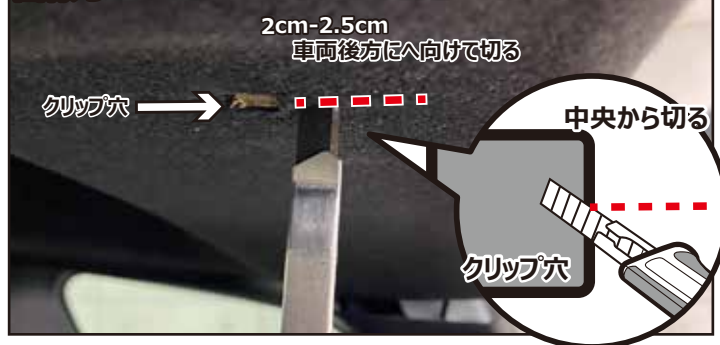
画像 9 を参考に、クリップを外した 2 箇所の穴の中央部に
車両後方へ向かってカッターで 2.0 ～ 2.5 cm のスリットを入れます。

👉 アドバイス

このスリットはハーネスを通すために必要なものです。

位置・方向・長さを確認し、
しっかり切り込みを入れて下さい。

画像 9



ハーネス配策 1

⑩ 車両側電源コネクタに電源取出しハーネスを接続

画像 10 を参考に、
ラゲッジランプユニットの車両側電源コネクタと、
本書 P5 手順④で準備したハーネスを接続し、
クッションテープを巻き付けて圧着して下さい。

画像 10



⑪ ラゲッジランプユニットの復元

ラゲッジランプユニットに電源取出しハーネスを接続します。

画像 11



⑫ Y 字分岐ハーネス配策

画像 12・12-2 を参考に、
Y 字分岐ハーネスを引き出して下さい。

画像 12



画像 12-2



画像 12-3 を参考に、
ラゲッジランプユニットを復元します。

注 記

Y 字分岐ハーネスは過度な負荷をかけると
コネクタが外れたり内部で断線する可能性があります。
パネル内部を確認しながら適切な強度で後方へ引き出して
下さい。

画像 12-3



ランプ組付け

⑬ 灯体本体を仮固定する

灯体本体のコネクタを、本書 7P 手順⑧で外したクリップの穴からルーフトリムと車体パネルの間を通し、車両後方へ引き出します。

灯体本体のハーネスをスリットへ収めながらルーフトリムへ密着させて下さい。

画像 13



画像 13-2



注 記

配線を強く引っ張ると断線等の原因になりますので適切な箇所を持って引き出して下さい。

また画像 13-3 を参考に、灯体本体裏面の面ファスナーをルーフトリムに密着する程度に加圧して下さい。

注 記

基板に直接触らないように注意して下さい。

画像 13-3



ハーネス配策 2

⑭ 中間ハーネス接続

左右の灯体本体コネクタに中間ハーネスを接続します。

画像 14 を参考に

中間ハーネス A(長) と助手席側灯体コネクタ
中間ハーネス B(短) と運転席側灯体コネクタ
をそれぞれ接続します。

本書 9 P 手順 12 で引き出した Y 字分岐ハーネスに
中間ハーネスを接続します。(画像 14-2)

画像 14



画像 14-2



⑮コネクタ接続部及びハーネスの保護

画像 15 を参考に、灯体ハーネスと中間ハーネスの接続部分にクッションテープを巻きつけ、外れないようにしっかり圧着して下さい。
(運転席側・助手席側 計 2 ヶ所)

画像 15-2・15-3 を参考に、
Y 字分岐ハーネスと中間ハーネスの接続部も同様にクッションテープを巻き付けます。
この際、接続した 2 つ中間ハーネス A と B のコネクタとハーネスが

重ならないよう並列にまとめて
巻いて下さい。

画像 15-4 を参考に、
Y 字分岐ハーネス側のクッションテープと接する様にフラットワイヤープロテクターを貼付けます。

画像 15-5・15-6 を参考に
前手順で貼り付けたフラットワイヤープロテクターの直後で、
助手席側中間ハーネスを 5 ～ 6cm 折り返し、
クッションテープを巻き付けます。

画像 15

接続部分にクッションテープを
しっかり巻付け、圧着する

画像 15-2

画像 15-3

画像 15-4

画像 15-5

5~6cm

画像 15-6

ハーネス処理

⑯ハーネスの配策

ハーネスをルーフトリムとパネル内へ収めます。

画像 16 の黄色矢印のように

ルーフトリムに沿ってハーネスを入れ込みます。

画像 16-2 の黄丸部の箇所は

クリップ及びクッションより奥側へ収めて下さい。

⚠ 注意

ルーフトリムを戻すときに配線が挟まったり、無理な力がかからないか、また内部部品と重なってルーフトリムが浮いたりしていないか、よく確認して下さい。断線等、思わぬ不具合の原因となります。

画像 16



画像 16-2



動作チェック・車両復元

⑰ 灯体本体固定

付属のルーファイニング固定用クリップ[®]で

灯体本体を固定します。

画像 17・17-2 を参考にクリップ穴と灯体本体の中心を合わせ、クリップを差し込み固定して下さい。

⚠ 注意

クリップ固定の際に、切り込みに差し込んだハーネスをクリップ固定部に挟み込まないようにして下さい。

基板には触れないようにして下さい。

破損の原因になります。

2 カ所の灯体本体にレンズを装着します。

画像 17-3 を参考に、ハウジングの切り欠きを合わせてレンズを押し込み、固定して下さい。

💡 アドバイス

この時、
画像 17-4 を参考に
文字の向きを合わせ
付属の化粧シールを
貼付けて下さい。

画像 17-4



画像 17



内貼りに面ファスナーが密着するように押し付ける

画像 17-2



画像 17-3



画像 18

ラゲッジランプ	ワークランプ	ワークランプスイッチ
点灯	点灯	点灯 / 消灯
消灯	消灯	-

画像 18 の図を参考に動作確認を行って下さい。

ワークランプはルームランプに連動し点消灯します。

また、レンズを軽く押すと点灯 / 消灯できます。

取外したウェザーstripp・車両部品等をすべて復元し

灯体本体の点灯および動作チェックをして下さい。

車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認して下さい。

画像 18-2

